

スクラッチアートをつくろう

スクラッチアートってなに？

スクラッチアートとは「スクラッチ＝削る・傷を付ける」という言葉の通り、台紙を削って楽しむ塗り絵のことです。ペンなどの先が尖ったもので台紙を削ると、カラフルな下地の色が表れるので、新鮮な感覚でお絵かきができます。書店や100円ショップで本が売られていますが、自分で台紙を作ることも簡単にできるので、是非お試しください。

【作品例】



- ①画用紙をクレヨンで塗りつぶす
- ②塗りつぶした画用紙をアクリル絵具で覆う
- ③割箸等で画用紙を削る

以上3工程に分けることで、他の活動と組み合わせたり、得意分野に役割分担したりと、意外に設定しやすい活動となります。

実際の活動では、ふだんは経験できない画用紙を塗りつぶすことを楽しんだり、黒いところからカラフルな模様が出てくことに驚いたり、子ども達も集中しながら取組んでくれました。

ビンゴカードに活用する等、多くの活動にも展開できると思いますので、一度お試しください。

〈所要時間〉

アクリル絵の具が乾くのを待つため、2日間に分けて実施しました。

1日目 画用紙をクレヨンで塗りつぶす＋塗りつぶした画用紙をアクリル絵の具で覆う：約20分

2日目 割り箸等で画用紙を削る：約20分

〈準備する物〉

・画用紙 ・クレヨン ・アクリル絵具 ・筆 ・割箸 等

〈手順〉

①画用紙をクレヨンで塗りつぶす。



ポイント！

- 塗り残しがあると、アクリル絵具が紙に吸収されてしまいますので、しっかりクレヨンで塗るとよいです。
 - ASDのお子さんに「塗りつぶす」よう伝えたら、塗りつぶすことに集中して、納得して終わるまでに時間がかかったので、伝え方にも工夫が必要だと思います。
- ②クレヨンで塗った画用紙の上にアクリル絵具を重ねる。



ポイント！

- アクリル絵具を水で伸ばしすぎると、固まらなくなってしまうので注意が必要です。
- 皮膚についた時には乾くのを待ってから剥がすと落としやすいです。

③乾いたアクリル絵を削って絵を描く。



ポイント！

- アメリカンドッグ用の串で細く削れるように、割り箸を平たくして面で削れるようにしました。
- 自由に絵を描くことが苦手なお子さんには、モデルとなる絵を用意するとスムーズに取り組むことができます。